

# 続く休校 子どもどう守る

## 新型 コロナ

### 外での運動 文科省「OK」

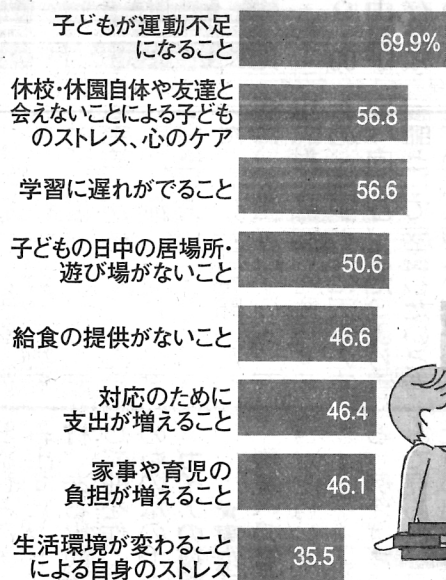
新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、各地で休校・休園が続き、多くの子どもたちがふだんとは違う生活を強いられています。感染の拡大防止に努めながら、子どもたちの権利をどう守っていくのか、問われています。

東北地方の40代の女性は、休校後、子どもの小学校から「公園で遊ばせるのを控えて」という内容のメールを受け取った。子どもが遊んでいるのが不安だ、との苦情が学校にあったからだという。子どもには宿題や工作などをして過(ぎ)させているが「感染者が少ない地域なのに……」と戸惑う。文科科学省は、今月9日、休校中の過ごし方について、風邪の症状がないことなどを前提に「屋外での運動や散歩を妨げない」という見解を示した。当初「基本的には自宅で過ごす指導を」としていたところ、「公園に行ってもいいのか」などの問い合わせが相次いだためという。担当者は「もともと散歩や公園に行くことを制限しているつもりはなかった」と説明。運動不足やストレスを解消することも大切として、「ジョギングや縄跳び、家庭・体育館の開放を否定しない」ことも明示した。

### 学ぶ権利 奪われる可能性

感染不安の中、子どもたちの育ちや学びが軽視されているのでは――。国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」は6日、緊急声明を出した。国は休校対策として家で自習させることを各学校に求め、ウェブで教材や自宅学習サイトを紹介する。し

#### 休校・休園の影響で困っていること、心配なこと



複数回答、上位8位まで。認定NPO法人フローレンスが3月6～9日に実施した「一斉休校に関する緊急全国アンケート」から、一部を抜粋。休校・休園中の子がいる保護者が対象、有効回答数8339



かし声明は「『自宅が勉強できる環境にない』『インターネットにつながるパソコンがない』という子どもも存在し、学習に必要な資源に不平等が生じる可能性は極めて高い」と指摘。また、子どもや家庭への影響の調査や、経済的な事情で学校をやめる子が出ないよう施策の弾力的な運用も要望している。声明をまとめた田代光恵さんは「感染対策とのバランスが難しいが、学校が果たしていた機能がなくなることで、特に弱い立場の子らへの直接的なケアが途切れ、学び・育つ権利が奪われることを心配している」と話す。

(栗田優美)

### 親がまず落ち着いて 安心させて

新型コロナウイルスの感染が広がるにつれて、「これからどうなるのだろう」という不安が生じています。子どもたちに、この状況をどう伝えたいのか？ 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会の副委員長を務める、川崎医科大学(岡山)教授の中野貴司さんに聞きました。



川崎医科大学教授 中野貴司さん

このウイルスはわかっていないことが多い。だからこそ不安になるわけです。子どもは親の不安を敏感に察知します。たださえ、学校が急に休みにになり、混乱しているときに親が慌てる様子が伝われば、不安感が強まります。もし、「感染したらどうなるの?」と聞かれたら、私だったらこう答えます。「いまわかっていないなかでは、感染した子どもで症状が重くなったり、もともと持っていた病気が重くなったりした人は、世界中でもすくなく少ないよ」。子どもの重症化の報告は今のところ、まれです。そこは正確に伝えて、安心させてほしい。そのうえで、「でも病気が重くなる人もいるから、ほかの人にうつさないようにしようね」「自分の予防も含めて手洗いをちゃんとしようね」と話してほしいです。外出から帰ったとき、食事の前、トイレの後――。手洗いを習慣にしてもらえば、インフルエンザなどほかの感染症を防ぐことにも役立ちます。同じ年頃の子と触れ合う機会は、子どもの成長発達に重要です。むやみに外出を控える必要はないでしょう。感染リスクの観点からも、遊ぶには室内より公園などがよいでしょう。とくに小さな子どもは、マスクをつけ続けるのは現実的ではなく、その必要はないと考えます。いまわかっていない範囲では、多くの人は軽症です。子どもにウイルスのことを正確に伝えるために、まず親に対して「冷静に、落ちついて」と伝えたいです。

(聞き手・武田耕太)

#### いつもと異なる生活の中で見られる子どもの反応

- ・腹痛や頭痛、不眠、食欲不振など
- ・わがままやおもらし、赤ちゃんがえり
- ・いつもより泣く、大人から離れない

#### ■大人は……

- ・このような反応や行動は自然なことと知り、できるだけいつもの日課や習慣を保てるようサポートする
- ・子どもに変わった様子がないか、体調が悪そうな子はいないか、いつもより丁寧に見る
- ・様子が気になる子の声に耳を傾ける。落ち着いて話せる環境をつくり、子どもが自ら話すことを聞く

(セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの動画) 「子どものこころのサポート」から